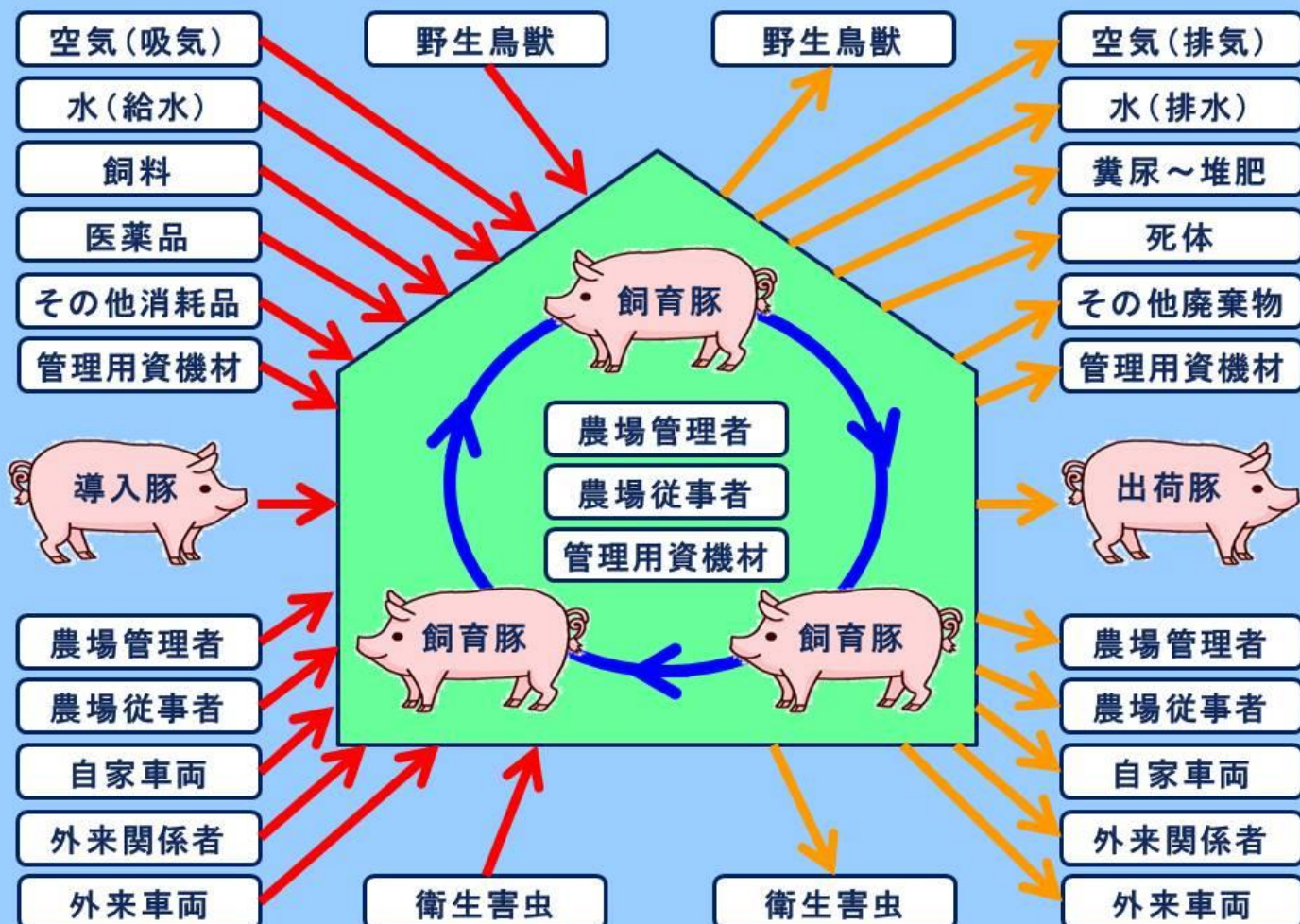


寒冷期における養豚衛生管理について

- ◆ これからの季節、低温下ではウイルスなどの病原体の環境中での残存性が高まり、例年、様々な疾病が多発する傾向にあります。
- ◆ 平成25年10月に国内7年ぶりに発生した豚流行性下痢は、発生件数は減少傾向ですが依然、晩秋から再発がみられます。
- ◆ 豚流行性下痢を含め、様々な疾病の発生予防は農場や畜舎内へ病原体を持ち込まないこと、農場や畜舎内でまん延させないこと、農場及び畜舎外へ持ち出さないことが基本となります。



(農場内に入る対象 → 農場内まん延対象 → 農場外に出る対象 →)

◎ 豚流行性下痢の主な症状は元気消失、食欲不振、おう吐及び水様性下痢ですが、同じような疾病が他にもあります。

◎ 豚に何らかの異常を認めましたら直ちに通報してください!!